

福島第一原子力発電所における地すべりの可能性について

コメント回答

富岡層風化部のボーリング調査・室内試験結果について
(ボーリング柱状図・コア写真)

TEPCO

2024年9月5日

東京電力ホールディングス株式会社



ボーリング柱状図

調査名 1F敷地内地質調査業務

ボーリングNo. 56411002000

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.5		調査位置	福島県双葉郡大熊町字夫沢22		北緯	37° 25' 13.4739"		
発注機関	東京電力ホールディングス株式会社			調査期間	令和5年 7月 7日～ 令和5年 8月28日		東経	141° 01' 35.9257"	
調査業者名			主任技師			現代場人			
孔口標高	TP	35.82m	角	180° 上 下 度		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		
総掘進長	16.00m		地盤勾配	0° 鉛直 90°		使用機種	試錐機 TEC-1 エンジン NFD-12		
							ハンマー落下用具	半自動型	
							ポンプ	NP-40	

標尺	層厚	深	柱状図	土質区分	色相対密稠度	相対密稠度	記	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験			原位置試験	試料採取	室内掘進
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量			
1	34.62	1.20	1.20	砂礫	暗褐		GL-0.00~1.20mは試掘区間で、主に路盤材からなる。径1~5cm程度の黒色頁岩の碎石を主体とし、細~粗粒砂を含有率10~20%で含む。		7/12 1.35						7/11
2	33.77	0.85	2.05	シルト質砂	褐 赤褐		GL-1.20~2.05mは盛土。砂質シルト~シルト質砂を主体とし、全体的に火山灰質。径0.2~0.3cm程度の細礫を含有率5%以下で含む。		7/13 2.85						7/11
3					褐		GL-2.05~9.79mは段丘堆積物。GL-2.05~4.48mは径0.2~2cmの風化した垂角~垂円礫を主体とし、基質は淘汰が悪い細~粗粒砂からなる。礫含有率は40~50%程度であり、礫種は花崗岩、泥岩および砂岩など。		7/19 3.95						7/12
4				雑混じり砂礫	褐		GL-3.07~3.11mは砂質シルトを挟在する。								7/13
5					褐 暗褐		GL-4.48~5.72mは淘汰が悪い細~粗粒砂を主体とし、径0.5~2cm程度の垂角~角礫を含有率20~30%で含む。								7/13
6					褐		GL-5.72~6.80mは径0.5~5cmの垂角~垂円礫を主体とし、基質は淘汰が悪い細~粗粒砂からなる。礫含有率は40~50%程度で、主に基質支持。								7/13
7					暗赤褐		GL-6.80~7.55mは淘汰が悪い細~粗粒砂を主体とし、径0.2~1.5cmの風化した垂角~垂円礫を含有率20~30%で含む。								7/13
8	26.03	7.74	9.79	中粒砂岩	褐 赤褐 黄褐		GL-7.55~8.41mは細~中粒砂を主体とし、部分的に粗粒砂分を伴う。径0.2~0.4cmの垂角~垂円礫を含有率5%以下で含む。								7/14
9							GL-8.41~9.79mは淘汰が悪い細~粗粒砂を主体とし、径0.2~1.5cm程度の垂角~垂円礫を含有率20~30%で含む。								7/14
10							GL-9.79~12.35mは細~中粒砂岩から成り、風化褐色化を呈し軟質。径0.1~0.4cm程度の黒色斑が散在する。GL-11.00m以深は砂質泥岩の挟在する部分が多い。								7/14
11							GL-12.35~16.00mは塊状の砂質泥岩から成り、細~中粒砂が散在する。新鮮で固結するが、GL-12.35~12.43mは風化褐色化を呈しやや軟質。								7/19
12	19.82	3.65	16.00	砂質泥岩	暗緑灰		GL-13.24m以深は砂分が少ない。								7/19

ボーリング柱状図

調査名 1F 敷地内地質調査業務

ボーリングNo. 5641012000

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.6	調査位置	福島県双葉郡大熊町宇沢22	北緯	37° 25' 31.6504"
発注機関	東京電力ホールディングス株式会社	調査期間	令和5年 5月15日～ 令和5年 6月 9日	東経	141° 01' 37.1049"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ		ア		監	
定		者		者	
ボーリング責任者					
孔口標高	TP 37.13m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 90° 東 180° 南
総掘進長	18.00m	度	0°	向	0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機 TEC-1	ハンマー	落下用具	半自動型	
エンジン	NFD-12	ポンプ	NP-40		

標尺	層高	厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	相対	相対	相対	相対	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内	掘進						
													深	10cm毎の	打撃	N					深	試験名	深	採取	内	進
m	m	m	m	図	分	調	度	度	度	度	度	度	m	0	10	20	30	40	50	60	m	番号	方法	試験	月	日
1	36.13	1.00	1.00	○●○●	砂礫	暗褐							5/18 1.00												5	16
2	35.03	1.10	2.10	〰〰〰	火山灰質粘性土	帯黄褐							5/19 1.66													
3				●●●●	礫混じり砂礫	褐																				
4				●●●●	礫混じり砂礫	褐																				
5				●●●●	礫混じり砂礫	褐																				
6				●●●●	礫混じり砂礫	暗褐																				
7				●●●●	礫混じり砂礫	暗褐																				
8				●●●●	礫混じり砂礫	暗褐																				
9				●●●●	礫混じり砂礫	暗褐																				
10				●●●●	礫混じり砂礫	暗褐																				
11	26.02	9.01	11.11	●●●●	中粒砂岩	黄褐																				
12	24.83	1.19	12.30	●●●●	砂質泥岩	暗緑灰																				
13				●●●●	砂質泥岩	暗緑灰																				
14				●●●●	砂質泥岩	暗緑灰																				
15	21.95	2.88	15.18	●●●●	中粒砂岩	褐																				
16				●●●●	中粒砂岩	暗灰																				
17	19.68	2.27	17.45	●●●●	泥岩	暗緑																				
18	19.13	0.55	18.00	●●●●	泥岩	暗緑																				
19																										
20																										
21																										
22																										
23																										

ボーリング柱状図

調査名 1F 敷地内地質調査業務

ボーリングNo. 5641012000

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.7	調査位置	福島県双葉郡大熊町字夫沢22	北緯	37° 25' 54.4660"
発注機関	東京電力ホールディングス株式会社	調査期間	令和5年 6月 6日～ 令和5年 6月30日	東経	141° 01' 51.6011"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	TP 21.85m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 西 東 180° 南
総掘進長	16.00m	度	0°	向	0° 鉛直 90°
試験機	DO-C	ハンマー	落下用具	ポンプ	半自動型
エンジン	NA-10				BG-3

標尺	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	相対	相対	相対	相対	相対	標準貫入試験			原位置試験	試料採取	室内	掘進
													深	10cm毎の	打撃回数				
m	m	m	m	図	調	調	調	調	調	調	調	調	m	度	番号	方法	試験	月	
21.60	0.25	0.25	砕石	灰	暗赤褐														
20.43	1.17	1.42	混じり砂	褐															
18.99	1.44	2.86	混じり砂	暗赤褐															
			中粒砂岩	褐															
11.06	7.93	10.79	泥岩	暗緑灰															
5.85	5.21	16.00																	



















